

東日本大震災復興支援プロジェクト

第14回活動報告



視察におとずれたJA女性部大泉支部の方々に被災体験を語る伊藤さん（左）。背景が痛々しい。

**JA女性部の方々が
現地をおとずれました。**

今年度4回目となった第14回活動は7月1日（日）、職員5名が参加して宮城県東松島市で実施しました。

この日はJA女性部大泉支部の方々が研修旅行の一環として現地を訪れており、被災地の視察に加えて、当プロジェクトでは被災者の生の声を聞いてもらおうと、旧・野蒜駅の敷地内で講話を企画しました。

話をして下さったのは、現地でデイサービスやグループホームなどの高齢者介護施設を営むNPO法人「のんびり すみちゃんの家」代表の伊藤寿美子さん。震災当日に施設利用者を避難させた時の様子や自らが遭遇した津波の様子、避難先での生活や現在の心境などを集まった約50人に語ってくれました。

またこの日は、大津波で大勢の人達が亡くなった野蒜小学校のグラウンドで大規模な復興祭が開かれていました。地元の有志や世界中のボランティアによって多くの出店やイベントが催され、集まった多くの市民を元気づけていました。

プロジェクトでは前回植えた野菜の畑を回り、肥料をまくなどのフォロー活動も行なっています。

次回は8月4日を予定しています。

『活動の概要』

【活動日】 7月1日（日） 【活動地】 宮城県東松島市

【参加者】 鈴木 大亮（総合戦略室）、佐藤 浩市（経理システム課）、百瀬琢寛（農業支援室）、岡部映子（生活課）、井上和華（北支所）



以前植えた畑のフォローも行ないました。



復興祭には多くの市民が訪れていました。



地元の航空自衛隊も祭りに一役。



子ども達の間でピカチュウと人気を二分する鈴木缶バッチ。